

## 酒井潤一先生御退職記念式典を振り返って

酒井研究室 10 期生・丸田宗弘

### 1. 酒井研究室のあゆみ

酒井研究室は 2000 年に始まり、2007 年の物質開発工学科から機械科学・航空学科への学部再編を経て、2016 年 3 月、酒井先生の御退職をもって終了しました。当時 10 人にも満たない学生で始まりましたが、今や 100 人以上の卒業生を輩出する研究室となりました。「頭に汗を、さもなくば身体に汗を」という言葉を motto に、酒井先生には本当に親身にご指導していただきました。また年一回の OB 会での先生、学生、卒業生が一つとなって盛り上がる光景は、本当に素晴らしいものでした。

### 2. 最終講義と記念謝恩会

酒井研究室卒業生を中心に、一年以上前から式典の準備が始まりました。なかなか全員が集まらない厳しい状況でしたが、現役生にもご尽力いただき、現役生と卒業生が一つとなって式典に臨みました。

そして 2016 年 3 月 5 日、酒井先生の最後の花道を飾るにふさわしい晴天の下、小野記念講堂にて最終講義が始まりました。司会は機械科学・航空学科教授の鈴木進補先生、ご祝辞は基幹理工学部長の太田先生にお願いし、最終講義に華を添えていただきました。

酒井先生の講義は、ご自身の生い立ち、研究室の歴史、研究分野、一般時事など多岐にわたり、スライドの数はなんと 150 枚超。それでも酒井先生は、まだまだ話したいことがあったが時間と余裕が無かったと振り返えられ、改めて酒井先生の凄さを感じるとともに、学生の頃の懐かしさも感じました。研究室の歴史を振り返る先生は本当に楽しそうにお話をされていました。会場がほぼ満席となった約 200 人の参加者の皆様も熱心に、時に笑い声をあげられ、終始和やかな雰囲気の中で最終講義は終わりました。

記念謝恩会は椿山荘東京で盛大に執り行われました。その人の多さに圧倒され、これぞ酒井先生の人柄の良さの賜物だと感じました。機械科学・航空学科主任の吉村先生と早稲田大学名誉教授の中江先生に熱のこもったご挨拶をいただき、勢いそのままに謝恩会は盛り上がりました。酒井先生は、料理はほとんど食べられなかったとおっしゃられていた通り、笑顔で絶えずご歓談されていました。一番の盛り上がりを見せたのは応援部のパフォーマンスで、全員で肩を組み、校歌、早稲田の栄光、紺碧の空を合唱する光景は圧巻の一言でした。謝恩会が終わり参加者一人ひとりにご挨拶をしている先生は、充実の笑顔の中にも涙を浮かべられており、その姿がとても印象的でした。参加者の皆様からもとても素晴らしい会だったというお言葉もいただき最後に相応しい謝恩会となりました。

### 3. 記念式典を振り返って

式典後、酒井先生にお話しをお伺いすることができました。式典の運営委員への労いの言葉と、ご自身の最終講義に対する反省など、最後まで周りへの気遣いを忘れず、自分の仕事へのこだわりを持っておられる姿を見ました。この姿こそ在学中に酒井先生のおっしゃっていた、社会人としてのあるべき姿そのものだと感じました。

酒井先生は教育熱心で本当に面倒見が良く、厳しさの中には常に学生の成長を見据えた愛情がありました。今、社会人として仕事ができているのも、酒井先生のご指導があったからこそだと強く実感しております。酒井研究室で学ぶことができたことが、今何よりの誇りです。OB・OG を代表してこの場をお借りして改めて酒井先生に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### 4. 最後に

酒井潤一研究室は終了しましたが、酒井研で培った人と人との繋がりは今後も末永く続いていきます。今までもそしてこれからも酒井先生あつての酒井研究室です。酒井先生、卒業生の皆様、改めて今後ともよろしくお願ひ申し上げます。末筆ながら酒井先生と奥様、御家族皆様のご健勝を祈念しております。

「最終講義にてご講演される酒井先生」



「謝恩会にて酒井先生ご夫妻と研究室 OB・OG」



以上